

# 第3章／環境活動のしくみ

人吉電力所は、長期的視点に立ち、継続的に環境負荷の低減に取り組むため、以下のようなしくみを築いて環境保全活動に取り組んでいます。

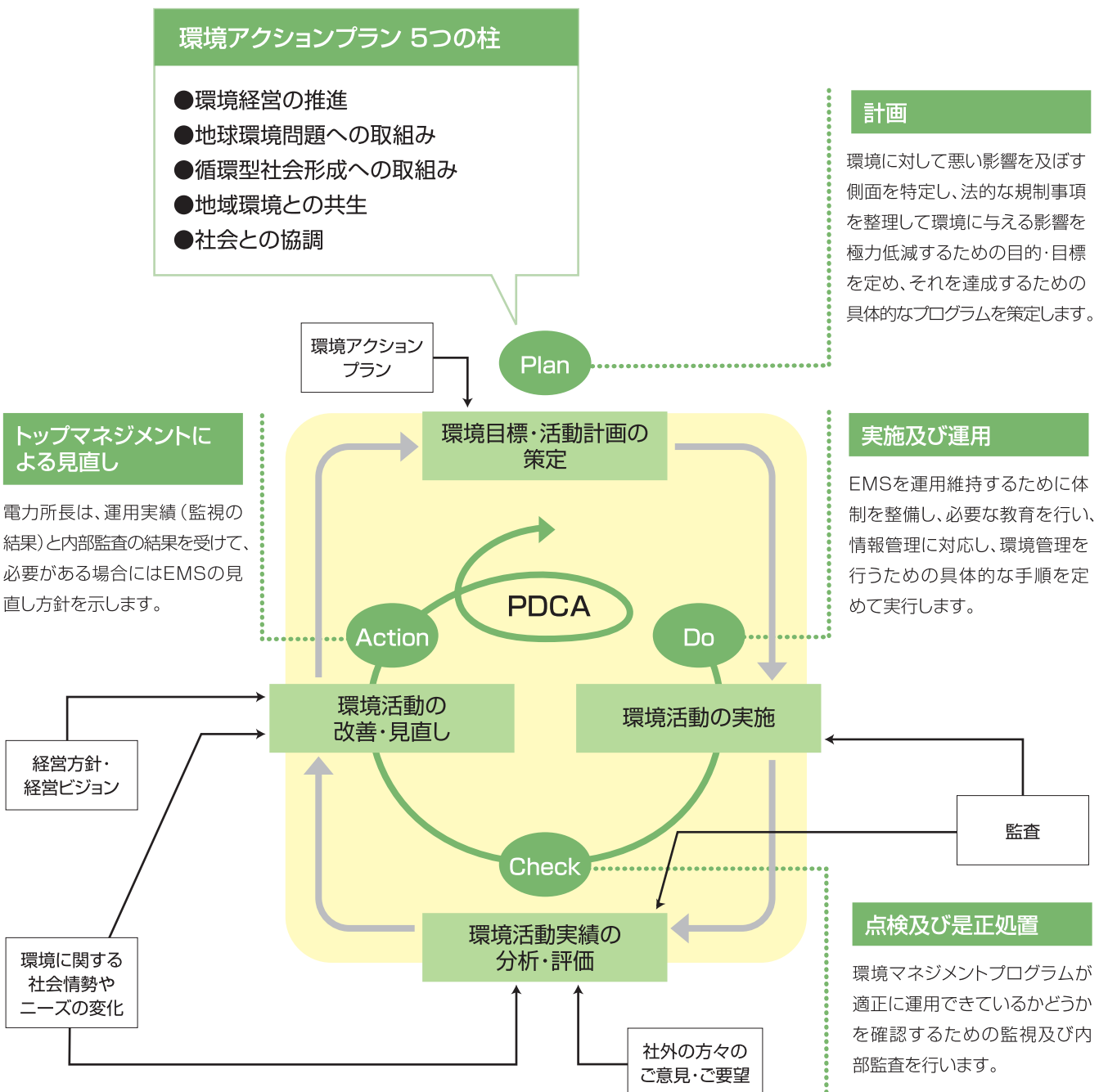
## 1. 環境マネジメントシステム

### (1) EMS導入とISO14001認証取得

人吉電力所では、所員及び関係者の環境保全に対する意識の高揚、並びに環境負荷軽減のための継続的改善による環境管理レベルの向上などを目的として、環境マネジメントシステム(EMS)を導入しています。

EMSは、電力所の環境保全に関する基本姿勢を示した環境方針に基づき、以下に示すPDCAサイクルを繰り返すことで、環境負荷の継続的な低減を図るシステムです。

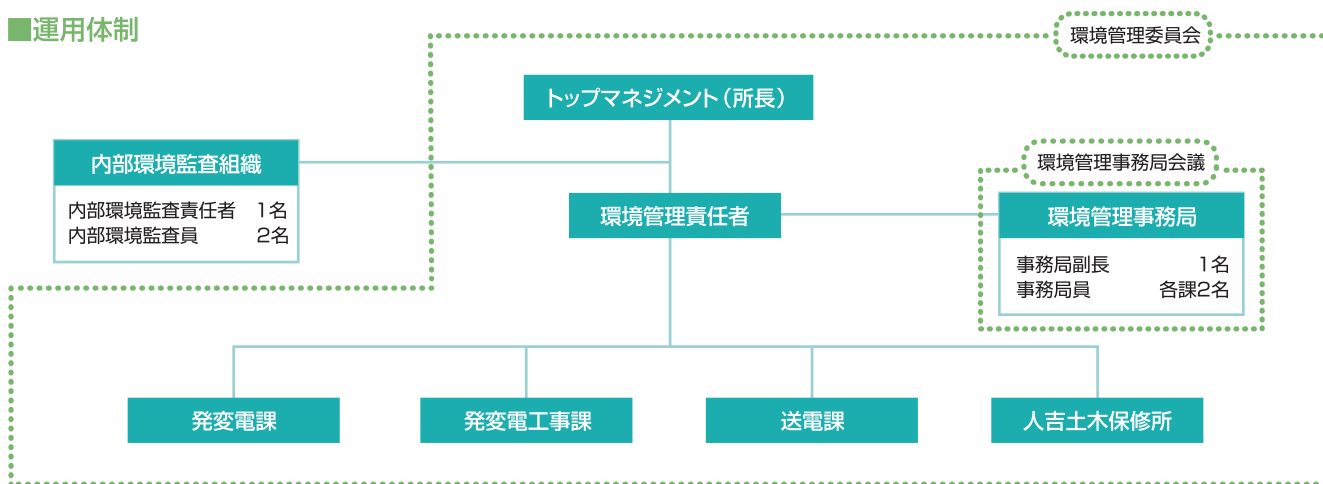
このシステムを2000年9月に導入し、翌年3月に国際規格であるISO14001の認証を取得しています。



## (2) 運用体制

電力所内で業務する人吉電力所員及び人吉土木保修所員が協力して環境マネジメントプログラムに定められた役割分担に従い、環境管理に取り組んでいます。

### ■ 運用体制



## (3) 内部環境監査

電力所長が任命した「監査責任者」を中心とした「内部環境監査組織」が、環境監査を年1回実施しています。ここでは、人吉電力所における環境管理がISO14001規格の要求事項に適合し、適切に実行・維持されているかを確認しています。

## (4) 教育・訓練

環境マネジメントシステムに関する教育や、各所員に応じた各種の教育・訓練を定期的に行っています。

また、緊急事態を想定し、大規模非常災害復旧訓練、油流出事故復旧訓練及び消防訓練などを定期的に行っています。

なお、当電力所員が保有する環境関連の資格は右表のとおりです。(土木保修所含む)

当電力所員の環境関連資格の保有状況

資格名	資格者数(人)
防火管理者	2
衛生管理者	26
特別管理産業廃棄物管理責任者	5
危険物取扱責任者	28
内部環境監査員	6

2008年4月1日現在

## (5) 外部環境審査

2001年3月の認証取得以降、毎年、第三者の審査機関からEMSが適切に実行され、維持されていることを定期審査により確認を受けています。さらに、認証の有効期間が3年であることから3年目には更新審査を受けて更新継続しています。

外部審査機関による受審状況

	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
認証取得	○							
更新審査				○			○	
定期審査		○	○		○	○		○

## 2. 環境目的・目標の計画と実績

### (1) 2007年度の実績と評価

環境管理活動上、電力所が重点的に取り組むべき課題に対して、目的・目標を定め環境活動に取り組んでいます。

#### 2007年度EMS目標の取り組み結果

計画			結果	備考
項目	目標値	実施方法		
事務所内電力使用量の削減	1999年実績から22%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼休み及び時間外の不要な照明の消灯</li> <li>・冷暖房の温度設定(冷房28℃、暖房19℃)</li> <li>・空調運転停止時間の管理</li> <li>・不使用OA機器の電源断の実施(平日、週末電源断対象機器の明確化)</li> <li>・省エネ標語類の設置</li> <li>・執務室他不要蛍光灯の間引き</li> <li>・時間外の適正実施、管理</li> <li>・自動点灯スイッチの導入拡大</li> <li>・空調効率UP対策の実施(夏場のブラインド運用、エアコン吹出し口調整)</li> </ul>	1999年実績から21.7%削減	ほぼ目標達成
事務所活動における紙の使用量削減	2002年実績から28%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両面印刷、両面コピーの徹底</li> <li>・コピー後の設定リセットによるミスコピー防止</li> <li>・印刷前のプレビューによるミスプリント防止</li> <li>・コピー用紙のA4サイズ統一</li> <li>・ミスコピー用紙の裏面活用</li> <li>・プロジェクターの活用(会議における紙の使用量削減)</li> </ul>	2002年実績から28.4%削減(参考)1999年実績から45%削減	目標達成
一般廃棄物の削減及び再資源化の推進	発生量5,000kg以下 リサイクル率80%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源ゴミ分別の徹底</li> <li>・生ゴミ処理機の使用</li> <li>・現場一般廃棄物の処理適正化</li> <li>・リサイクル可能物品の抽出、明示</li> </ul>	発生量4617kg リサイクル率74.8%	一部目標未達
環境に優しい行動の積極的推進	34点/人 (環境活動をポイント化)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に優しい行動の実施(ポイント設定項目)</li> <li>電力所周辺3S活動</li> <li>徒歩、自転車での通勤</li> <li>私有車運転時の省エネ運転</li> <li>植樹、清掃等環境活動への参加</li> <li>不法投棄ゴミ発見時の通報</li> <li>割り箸リサイクル活動 など</li> </ul>	38.6点/人	目標達成
溢水電力*に繋がる事故障害件数の低減	2003年~2005年の平均から10%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備懸案事項の計画的な解消</li> <li>・水車発電機巡視の強化(異常の早期発見、対応)</li> <li>・チェックリスト等による施工不具合の撲滅</li> <li>・再発防止、水平展開の確実な実施(検討体制、原因究明方法等の整備)</li> </ul>	2003年~2005年の71%削減	目標達成
オフィスクリーンの推進	平均85点以上 (チェックリストによる点数化)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オフィスクリーン定着化に向けた取組み(チェックリストを用いた実施状況確認)</li> <li>・文書電子化の推進</li> <li>・発電所書類、倉庫の整理(チェックリストを用いた整理状況確認)</li> </ul>	92.5点	目標達成

なお、「社用車の燃費向上」など活動が定着したものについては、特に目標値は定めず、「維持運用活動」として継続して取り組むこととしています。

\*事故や作業などにより発電機を停止した場合、発電可能な水が河川にあるにもかかわらず、発電に使用されない(資源を有効に利用しない)ことになります。このとき使用されなかった水量を溢水(いっすい)といい、その溢水に相当する仮の発電電力を溢水電力といいます。

## (2) 2008年度の計画

2008年度の計画は以下のとおりとしました。

## 2008年度EMS目標

計画（ ____は新規取り組み）			備考
項目	目標値	実施方法	
事務所内電力 使用量の削減	1999年実績から 24%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼休み及び時間外の不要な照明の消灯</li> <li>・冷暖房の温度設定（冷房28℃、暖房19℃）</li> <li>・空調運転停止時間の管理</li> <li>・不使用OA機器の電源断の実施（平日、週末電源断対象機器の明確化）</li> <li>・省エネ標語類の設置</li> <li>・執務室他不要蛍光灯の間引き</li> <li>・時間外の適正実施、管理</li> <li>・自動点灯スイッチの導入拡大（別館への導入）</li> <li>・空調効率UP対策の実施（夏場のブラインド運用、エアコン吹出し口調整）</li> </ul>	目標を上方修正のうえ、継続して取り組む
事務所活動における紙の 使用量削減	2002年実績から 34%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両面印刷、両面コピーの徹底</li> <li>・コピー後の設定リセットによるミスコピー防止</li> <li>・印刷前のプレビューによるミスプリント防止</li> <li>・コピー用紙のA4サイズ統一</li> <li>・ミスコピー用紙の裏面活用</li> <li>・プロジェクターの活用（別館会議室のLAN活用）（会議における紙の使用量削減）</li> </ul>	目標を上方修正のうえ、継続して取り組む
一般廃棄物の削減及び 再資源化の推進	発生量 4,100kg以下 リサイクル率 80%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源ゴミ分別の徹底</li> <li>・生ゴミ処理機の使用</li> <li>・現場一般廃棄物の処理適正化</li> <li>・リサイクル可能物品の抽出、明示</li> </ul>	目標を上方修正のうえ、継続して取り組む
設備懸案事項の 計画的な解消	計画懸案の 100%解消	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懸案事項解消のための作業計画作成</li> <li>・計画懸案の確実な実施</li> <li>・新規発生懸案の対策時期検討</li> <li>・緊急対応を要す新規設備懸案の迅速な処理</li> <li>・環境負荷の低減の着実な推進（石綿削減、油レス化推進等）</li> </ul>	新規（取り組み内容見直し）
環境に優しい行動の 積極的推進	36点/人 （環境活動を ポイント化）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に優しい行動の実施（ポイント設定項目）</li> <li>電力所周辺3S活動</li> <li>徒歩、自転車での通勤</li> <li>私有車運転時の省エネ運転</li> <li>植樹、清掃等環境活動への参加</li> <li>不法投棄ゴミ発見時の通報</li> <li>割り箸リサイクル活動</li> <li>ペットボトル蓋リサイクル活動</li> <li>環境家計簿（エコファミリー）データ入力 など</li> </ul>	目標を上方修正のうえ、継続して取り組む
オフィスクリーンの推進	平均93点 以上 （チェックリストによる 点数化）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オフィスクリーン定着化に向けた取り組み（チェックリストを用いた実施状況確認）</li> <li>・文書電子化の推進</li> <li>・発変電所書類、倉庫の整理（チェックリストを用いた整理状況確認）</li> </ul>	目標を上方修正のうえ、継続して取り組む